

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス カイト STARTS		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	運動活動時に人数が10人以上になり室内が手狭になる場合は、安全面に考慮しカイト広場を使用し活動場所を調節して対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	送迎時間・学習支援・運動療育など活動内容に応じてよく割合を明確にしております。	非常時を想定したバックアップ体制の強化が課題です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	活動スペース、学習スペース、静養スペースを明確に分け視覚的に分かりやすい環境設定を行っております。写真やイラスト、スケジュールボードを活用し見通しを持てるよう構造化しています。	利用児童の特性が多様化しており、より個別性の高い環境を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎朝の5S活動を職員間で徹底し、清潔で安全な環境作りを継続しております。また、活動内容に応じて机の配置や空間設定を柔軟に変更しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	児童の特性や状況に応じて、静養スペースや個別対応スペースを確保しております。	利用児童数や活動内容によって、十分な個別空間の確保が難しい場合があるため、環境整備の見直しを継続して行ってまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日振り返りを実施しノートへ記録しているため、後から内容を確認しやすい状態となっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	学習支援を行うあたり、児童本人の思いや保護者様のご意向を把握するため、アンケート等を実施し意見を伺っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の様子について継続的に情報共有を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	外部研修への参加を通して専門的知見を入れ、支援の質向上に努めております。	定期的な外部視点の導入について、継続的に検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	年間計画を作成し、放課後等デイサービスに必要な必須研修を定期的の実施しております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	児童一人ひとりのアセスメントに基づき、個別支援計画を作成しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	契約時や定期的な面談を通じて、児童の発達状況や、生活状況について丁寧にアセスメントを行っております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画作成にあたり、児童発達支援管理責任者を中心に支援会議を実施し、日々関わっている職員からの意見や気づきを取り入れ、多角的な視点で検討を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	作成した個別支援計画は職員会議や打ち合わせの場で共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の支援記録や行動観察を通して、インフォーマルなアセスメントを継続的に実施し、児童の変化に気づいた際は速やかに情報共有を行い、必要に応じて支援内容を調整しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	児童の課題や目標を明確にし、具体的な支援内容を設定しております。また定期的に見直しを行い、必要な項目が適切に反映されているか確認もしております。	地域連携や移行支援の視点についてさらなる充実を図ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	活動内容は職員会議や日々の打ち合わせで検討し、チームで立案しております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節の行事やイベントを取り入れた活動を多く実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	児童の特性やその日の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始前に必ず打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担を確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後に職員間で打ち合わせの時間を設け、その日の支援内容、児童の様子や気づいた点、課題などを共有し、次回の支援に活かしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日健康管理の一環として体温測定を実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	毎日の振り返りと併せて内容の確認および情報共有を行い、あわせて車内点検を実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	空気清浄機の使用および定期的な換気を行い、室内環境の衛生管理に努めています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	食事やおやつ前後には机の清掃を行い、アルコール消毒を徹底しています。また食後には、一人ずつ机を拭き、衛生管理に努めています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	事前に支援状況を整理し、具体的な情報提供ができるよう準備し、会議内容は職員間で共有、支援への反映をしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	関係機関との連携を通じて、児童にとって一貫した支援体制を整えております。	連携の機会をより定期的に設ける体制づくりを課題としております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	学校の年間行事や下校時刻の確認を行い、円滑な送迎調整を行っております。	情報共有の方法について、より効率できる仕組みづくりを検討しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	児童の特性理解を深めるため、丁寧な引継ぎを行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	卒業やサービス移行時には、これまでの支援内容を日ごろから整理しております。	移行支援の体制について、計画的な取り組みが必要と考えております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じて助言や情報提供を受け、支援の向上に努めております。	定期的な連携体制の構築について検討を進めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	社会性の育成を目的とした活動機会を設けております。	交流機会のさらなる拡充について検討を進めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	地域課題や他機関の取り組みについて情報収集を行い、事業所運営に活かしております。	参加機会の拡充や継続的な関与について、さらに検討を進めてまいります。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時やHUGを活用し、日々の様子を丁寧に伝えております。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者からの相談の応じ、助言や情報提供を行っております。	ペアトレーニングなどの体系的な家族支援プログラムについて検討を進めてまいります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に重要事項説明書を用いて丁寧に行っております。	説明内容の分かりやすさや向上に向け、資料の見直しを検討してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談時に意思確認を行い、子供の最善の利益を優先して計画へ反映しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	個別支援計画を提示し、内容を説明した上で同意を得ております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	子供に関する悩みや相談に対し、面談や日常的なやり取りを通して対応しております。また必要に応じて関係機関と連携し、支援につなげております。	相談内容の記録やフォロー体制のさらなる充実を図ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	保護者から交流の希望があった際には、情報提供や機会調整を検討できる体制を整えております。	父母の会や兄弟支援委については、今後さらに機会の充実を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情体制を整備し、契約時に説明するとともに周知しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的に通信を発行し、活動内容や行事予定をお知らせしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護に関する規定を整備し、適切に管理しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	障害特性に応じた伝達方法を用い、分かりやすい説明を心がけています。また視覚支援や具体的な表現を活用し、意思疎通の支援を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	地域とのつながりを意識した運営を心掛けております。	地域交流の具体的な機種の拡充について、今後検討を進めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを整備しております。職員間で内容の共有を行い、必要に応じて確認を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	5	業務継続計画を策定し、非常時の対応体制を明確にしております。	定期的な避難訓練や実践的な訓練の充実を図っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時や面談時に健康状態や服薬状況について確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食物アレルギーのある子に対しては、個別対応をしており、職員間で共有しております。また定期的な訓練も実施しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成し、年間を通して安全管理に関する研修や訓練を実施しています。感染対応、災害対応について定期的に学ぶ機会を設け、職員間で共有しています。また日常的に安全意識を高めながら支援を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	子どもの安全確保に関する取り組みについては、ヒヤリハットや事故が発生した場合には速やかに報告をし、連携を図っています。また日々の送迎時に子どもの様子を具体的に伝え、信頼関係の構築に努めております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事例については、事業所内で共有し、原因分析と再発防止の検討を行っております。また小さな事例記録し改善につなげる振り返りを大切にしています。必要に応じて支援方法を見直し、安全な環境作りに努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止のため、定期的に職員研修を実施し、適切な支援方法や言葉かけについて学ぶ機会を設けています。職員同士が相談しやすい環境作りを行い、早期対応に繋がっています。子どもの権利を尊重した支援を常に心掛けております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束については、原則行わない方針としやむを得ない場合の基準を明確に定めています。必要な場合は、事前に保護者へ説明し、同意を得たうえで実施し、実施後は、必ず記録と振り返りを行っております。		